

産建文教常任委員会

山の再生に向けて取り組みを新たに

12月9日に委員会が開催され、「白鷹町森林整備計画の見直し」について説明を受けた。

国、県の取り組みに
合わせ、町の森林整
備計画を見直し

新たな計画期間

平成29年4月1日～
平成39年3月31日

(10年計画)

計画の主な変更点

◇豪雨災害を受けて、
森林整備の現状と課
題を見直し

◇伐採と再造林に関す
る見直し

◇森林資源に合わせて
施業共同化の重点区
域を見直し

◇路網整備に関する山
の傾斜区分の変更

◇作業条件に応じた作
業システムの事項を
追加

質疑

各地区への啓発は

委員 重点区域以外の
地区が、早期に整備を
始めるための啓発は。

当局 まずは、財産区
と民有林の境界確認か
ら始めて、地域の協力
を得ながら、森林整備
に対する機運を盛り上
げていきたい。

林業者が少ないが

委員 林業従事者が少
ない中でどのように計
画を進めていくのか。

当局 経営計画に基づ
く整備にあわせて、自
伐型の林業も各地で進
めていただきたいながら、
林業振興を進めてい
く。



出荷を待つスギ苗畑

観光協会 体制の強化をはかる

今後の観光の取り組みについて説明を受けた。

観光交流の推進、
課題と改善策は

現状での課題

◇関係団体の連携不足
◇他団体との併設事務
所による窓口機能の
低下

改善策

◇関係団体の情報交換
の場をつくる

◇単独事務所にして観
光窓口を一つにする

◇他団体との人事交流
や自主事業を充実

質疑

荒砥駅の活用は

委員 単独事務所は必
要。荒砥駅を活用でき
ないか。

当局 山形鉄道の経営
体系も変わり、荒砥駅
の活用も検討していく。

「若者」との交流は

委員 中学、高校生と
の意見交換の場があっ
ても良いのではない
か。

当局 若い新たな柔軟
な発想は大切にしてい
くべきで、やる気にも
つながると思う。機会
を設けることができな
いか検討したい。



白鷹観光の玄関口（荒砥駅）

その他

- 新入学児童ランドセル贈呈事業
- 白鷹町生涯学習振興計画の策定
- 「日本の紅（あか）をつくる町」連携推進事業
- 買い物環境調査事業
- ヤナ場改修計画調査事業について説明があった。